

宮川の風 第50号

平成30年6月15日(金)発行
宮川小学校校長室からのたより

ママ もうパパとママにいわれなくても
しっかりとじぶんからきょうよりかもっと
もっとあしたはできるようにするから も
うおねがいゆるして ゆるしてください
おねがいます

5歳の女の子が毎朝4時に起きて練習したひらがなで書いた悲痛の叫び声は、誰にも届かないまま見捨てられました。全国でどれだけ多くの人たちが、この手紙を見て涙を流したのでしょうか。

虐待死という絶望的な最後を迎えなければならなかったこの子は、たったの5年間という短い人生を、どんな思いで必死に生きようとしたのでしょうか。何を希望に生きていこうとしたのでしょうか。小さな体に背負わされたあまりにも重い不幸を、誰も払い除けることができなかったことが悔やまれます。

裏面の記事をお読みください。

おそらく全国にNPO法人や民間の団体の組織があるのだと思います。当然、児童相談所などの公的な機関も身近な避難場所として存在しています。しかし、どんなにすばらしい組織や施設があっても、虐待の情報をそこに繋ぐことができなければ効果を発揮することはできません。家庭内で起きることであるため、外部からはわかりにくく通報が難しいのも理解できます。それでもできることがあったはずです。この事件が起きた近所の人たちも「なんとかしてあげたかった」と思っているに違いありません。

5歳で亡くなったこの子に、反抗という自由やわがままを味わわせたかったと思います。波打ち際でいつまでも遊ばせてあげたかったと思います。あなたはあなたのままでいいんだよと言ってあげたかったと思います。

今年も全校での長縄エイトマン(長縄8の字連続跳び)が始まりました。練習を積み重ねて各学級の記録を更新していきます。練習の成果は、運動会でもご覧いただけるとと思います。初めての1年生は、タイミングのとり方から学びます。担任が背中を押してタイミングを教えます。6年生は、いかに早いタイミングに合わせるかが焦点です。高学年では、3分間で400回に成功したらかなりの上達ぶりです。学級ごとのチームワークに期待しています。

ある日のできごとから

暖かい晴天の下で水泳学習をさせたいという思いが非常に強くあるのですが、そうはいかない状況での学習が続いています。実施の基準としては、水温+気温が50度以上としています。大人に比べて寒さには強い子どもたちですが、体調管理にはご家庭でも十分注意していただきたいと思います。来月の3・4・5日の水泳大会に向けて、今日もプールから準備体操の元気な号令が聞こえています。

鹿児島市立小学校教職員の健康維持と親睦を目的として、鹿児島市小学校教職員バレーボール大会が行われます。女性パートが23日(土)で男性並びに混成パートは30日(土)です。宮川小はどちらのパートにも出場します。現在、週1回程度練習をしています。放課後の短い時間しか練習はできません。おまけに、腰や膝に不安を抱える職員がいたり、私などは年齢との戦いから始めなくてはならず、思うように体が動かないのが正直なところです。目標は「勝つ」ことに置いていますが、何よりも大事なものは「勤務に支障がない」ようにケガをしないことです。ありがたいことに「心のチームワーク」は、どのチームにも負けない自信があります。どのような結果になるか楽しみなところです。下校途中に練習の様子を見た子どもたちは、いつもと様子が違う先生方を見て不思議そうに見たりしています。でも、心の中で応援してくれている気持ちは伝わってきます。

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)